



みんなのひろば

今月は、11月に開催された「秋の市民文化祭」の作品をご紹介します。(敬称略)

【俳句の部】

渓谷を流れて逸る秋の水
石丸ノミ子(米 湊)

日夕峰を下りて端山の粧へる
田中 京子(下吾川)

天空へ紅葉輝やく巖屏風
曾根 勝子(下吾川)

地藏仏まわり照らすや彼岸花
橋本 千代(尾崎)

夜の更けてそろそろ狸来る頃か
小田 桂子(下吾川)

雑木根の露草の数際立てり
吉岡 教子(尾崎)

時鳥草屨にかくれてそっと咲き
片野ト三工(下吾川)

【短歌の部】

山々の尾根くつきりと菊日和
佐山 あき(尾崎)

湖の上月球切に湖てらす
田中 国重(下吾川)

どんぐりを拾ふ幼児の固こぶし
村上カツミ(下吾川)

子ら点てし抹茶味はふ菊日和
長岡富士子(森)

琴の音のはずむ禅寺秋惜しむ
南 参波(森)

七転び八起老の体験説くわれが
見らに対へば齡忘るる
上岡 哲男(中山町出刈)

子のたまもの旅遠く来て奥蝦夷の
うたせ湯に浸る心ゆるびて
大西カズエ(上唐川)

朝なさな静けさやぶる水の音
ガスひねる音がスリッパの音
大西 米子(下吾川)

夜もすがら営業つづくるコンビニの
白き明かりが闇夜に点る
佐々木幹子(湊町)

登校の児らと交せる「お早やう」は
老のひと日のパワーとならん
篠崎 君子(上吾川)

生き甲斐をクライミングに掛くる娘を
見送るけふも気持おさへぬ
篠崎 瑞子(米 湊)

新築の家建つるなくリホームのみの
社長を思ふ長き不況に
筒井 義機(稻荷)

あと幾日もゆる紅葉か奥小田の
今をさかりの朱を眩しむ
友澤ツヨミ(米 湊)

出水野に鶴舞ふさまを見に来よと
言ひるし友の訃報が届く
平田 富美(米 湊)

優勝戦の醍醐味のある囲碁クラブ
日曜ごとに競ふわれらか
松田 建雄(米 湊)

原油高に資材・暖房費はね上り
皺寄せすべて末端にくる
水木 桂子(宮下)

夫のつく杖の音厨に聞こへ来て
われに安堵の一日始まる
宮岡 悦子(米 湊)

ひたすらに勤め上げしか四十二年
けふ定年の夫を見送る
向井千慧子(上吾川)

築山の人工滝の滝つぼに
寄りゆく鯉ら群れて跳ねるる
山内カヲル(湊町)

いみじくも少しかけたる十五夜の
月に淡き雲かかりある
山川 貞子(湊町)

風早の風孕みたる鯉のぼり
色あせて泳ぐ真鯉鯉が
安田 一江(米 湊)

すくすくいよっ子



空のようじにも体も大きく…ネ。

♠ **中島 空**くん(左)
平成16年7月9日生まれ(1歳)
《父》信行さん
《母》昭代さん(双海町上灘)

♥ **大垣舞依**ちゃん(右)
平成16年2月20日生まれ(1歳)
《父》智広さん
《母》笑子さん(双海町上灘)



けいごお兄ちゃんが大好きなまいちゃん。いつまでも二人仲良くね!